

お祓いで開運招福

# 庭月觀音 新春御祈祷会 仁王經祈願会



に の う  
き よ う

仁 王 經

き よ う  
祈 請 願

厄歳清浄

家内安全

交通安全

身体堅固

当病平癒

日時：1月11日(日)9時より

会場：庭月觀音本堂

ご利益法話

「世界のこころ  
日本のこころ」

## ○日程

9:00 受付開始

9:30 祈祷(読み上げ)

10:10 ご利益法話

11:10 新春福引き大会

12:00 祝賀乾杯にて散会

## ○志納金

世帯祈祷(お札大 授与)

2,000円

家族等の個人祈祷(お札小 授与)

1,000円

お申込み・お問合せ 庭月觀音 Tel55-2343

\*ご希望の方には、正式なご案内を送付します。

# ～仁王経のご利益とは～

問1 仁王経とは？

答1 正式名称「仁王護国般若波羅蜜多經」。法華經、金光明最勝王經と合わせて護国三部經と言います。

問2 いつ頃から唱えられたの？

答2 斎明天皇6年(660年)5月、天皇即位の大仁王会が修せられたのが始まりです。その後、たびたび民衆のために仁王経が修された記録が残っています。

問3 仁王経には、どんなご利益があるの？

答3 万民豊樂による国家繁栄がもたらされます。

問4 他のお寺でも、仁王経祈願会を行っていますか？

答4 琵琶湖のほとり、天台宗寺門派総本山・三井寺(園城寺)でも、毎年1月8日にたくさんの僧侶が出仕し、行っています。

問5 どうして、日本の成立以来、現在まで仁王経が大切にされているのですか？

答5 『七難即滅 七福即生』(しちなんそくめつ しちふくそくしょう)という極めて有難い教えがあるからです。“七難がすなわち消え去り、七福がすなわち生ずる”のです。

問6 七難・七福とは何ですか？

問7 歴史上の人物で、仁王経を特に大切にされた方はありますか？

答6 七難とは七つの災難です。

一難…“日月失度”(太陽と月の運行が狂うこと。)

二難…“星宿変異”(星の運行の異変)

三難…火災 四難…水災 五難…風災

六難…旱魃(かんばつ) 七難…賊(人災)

※七難を避けることが国王の重要な務めでした。

七福とは七つの幸福です。

長寿・富財・裕福・人望・

正直・清廉・威光・愛敬・大量

答7 江戸幕府を開いた徳川家康です。

あるとき、將軍家康は、天台僧・天海大僧正に『国が栄えるようになり、人徳が高まるようにするにはどのような道が大切であろうか？』と問いました。

それに対し、天海大僧正は『仁王経などの經典に説かれている教えを大切にすれば、七難即滅し、七福即生します』と答え、七つの福徳が人生にとっていかに大切であるかを説き、七福を家康が備えていることを諭しました。

家康は早速、狩野派の画家に七福の神々を描かせたそうです。

これが七福神のはじまりとされています。

問8 七福神とは？

答8 恵比寿様(清廉・漁業・商売繁盛の神様)

えびす顔は尊顔だよ！

大黒様 (有徳・財宝・戦闘・食料の神様)

二俵の米俵に立てるよ！

毘沙門天(仏法の守護神で、正義の戦神)

弁財天(音楽・弁舌才智・水・芸術の神)

愛敬を示す女神だよ！

福禄寿(長寿・富財・与宝・諸病平癒の神)

人々の安全と健康を守るよ！

寿老人 (福禄寿と同体異名)

布袋様(福運を授ける)

福耳で、見ていると心が福々しくなるよ！

問9 七福神が乗る船は？

答9 宝船

問10 七福神の七という数字にはどんな意味は？

答10 古来より七は聖なる数といわれてます。

お七夜、7人の侍、7観音、七草などなど！

江戸時代、元旦から七草の日まで七福神を巡る招福行事が大流行した。(正月の七福神巡り)

7という数字が特別に縁起がいいことを英語では“ラッキーセブン”といいます。